

## < 2025-26 年度地区ガバナーメッセージ >

### 【 国際協議会報告 】



米国フロリダ州オーランドのローゼン・シングル・クリークにて開催された国際協議会に出席してまいりました。(2月9日(日)~2月13日(金))世界の約200ヵ国・地域から約530名のガバナーエレクトとパートナーが出席しており、お世話をしてくださった役員関係者を合わせて約1,300名の出席者が集う会議でした。

今回は前年度までの本会議・分科会・ワークショップに加えて、新たに、「コフォートチーム」という5人組での活動が加わりました。私のグループは2名の日本人と米国・オーストリア・インドのガバナーエレクトの皆さんでした。通訳を交えず英語でコミュニケーションをとる機会に恵まれ、私も片言の英語に翻訳機、身ぶり、手ぶりで楽しく会話ができ、大変に良い体験をさせていただきました。

初日の全体会議において2025-26年度RI会長マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏(ブラジル サンパウロ サントアンドレ・ロータリークラブ)から、2025-26年度のRI会長メッセージ「よいことのために 手を取りあおう」UNITE FOR GOODが発表されました。ロータリーの最大の財産は会員一人ひとりであり、ロータリーのすべての功績と成長は、究極的に会員にかかっているということです。分断されがちな世界において、ロータリーの明るい未来を創造するために、会員の維持・増強が不可欠であると力強く述べられました。このメッセージは団結と希望の光となり、人種・ジェンダー・性別・思想・経済的背景などの異なる人々を結び付けるということです。そして、デ・カマルゴ会長はロータリー成長の柱として「革新」「継続性」「パートナーシップ」の3つを強調し掲げました。デ・カマルゴ氏が我々地区リーダー・クラブリーダー・会員一人ひとりに伝えたいことは次の通りです。

# ロータリー行動計画



**私たちは**世界で、地域社会で  
そして自分自身の中で  
持続可能な良い**変化を生むために**  
人びとが**手をとり合って**  
**行動する**世界を目指しています

より意義あるつながりを育み、奉仕を通じてより持続可能な変化をもたらすためにロータリーを導くのが、私たちの戦略計画である「ロータリー行動計画」です。この行動計画の四つの優先事項を指針とすることで、より健全なクラブをつくり、すべての人が積極的に参加できる体験を提供し、行動を通じて持続的な変化を生むために人びとを結びつけるという国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを実行することとなります。

より大きな  
**インパクト**  
をもたらす

- ポリオを根絶し、残された遺産を活用する
- ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる
- インパクトをもたらし、それを測る能力を高める

参加者の  
**基盤を**  
広げる

- 会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する
- 参加者がロータリーを体験する新しい方法を創り出す
- クラブの柔軟性とアピール力を高める
- インパクトとブランドに対する理解を築く

参加者の積極的な  
**かかわりを**  
促す

- クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する
- 個々の参加者をよりよく理解し、サポートする
- 個人的／職業的なつながりを築く新たな機会を提供する
- リーダーシップ育成とスキル開発のための学びの機会を提供する

**適応力を**  
高める

- 研究と革新、およびリスクをいとわない文化を築く
- ガバナンス、構造、プロセスを合理化する
- 意思決定におけるより多様な考え方を育む

## < 次期 RI 会長のスピーチより >

1. **DREAM(夢)** 夢を持つことの大切さ
2. **CONNECT(つながり)** 1人ひとりが社会の一部として存在していることを大切に
  - (1) 日本の「和(なごみ)」「絆」との共通点
  - (2) 水面に落ちた石が波紋を生むイメージ 小さな行動が次第に大きく広がっていくように
  - (3) 共同体への意識 地域の一人として責任を果たすことを重視
  - (4) 個と全体の調和 みんな互いに影響しあってつながっている
3. **PLAN(計画)** ゴールをしっかり見定めることの大切さ  
1年で目的・目標を果たすことは、なかなか難しい。3年間という期限を設定して、行動計画を推進することが必要
4. **ACT(行動)** ガバナーの言葉ではなくて、あなた自身の行動こそがあなたを語っている＝世界を変える行動人
5. **FAILED(失敗)** 成功は終わりではなく、失敗は致命的ではありません。大切なのは失敗を恐れず、続ける勇氣
6. **RECOGNIZE&APOLOGIES(認識と謝罪)** 人を褒めるときはみんなの前で、間違いを正すときは本人だけにお話をする姿勢を大切に
7. **TAKE RESPONSIBILITY(責任をとる)** 1年の成果・結果に責任を持ち、次年度につなげる。  
「ロータリーが私たちにとって何を意味するにせよ、世界にとっては、それが成し遂げた成果によって知られることになるでしょう」 ポール・ハリス
8. **HAVE FUN(ロータリーを楽しむ)** 金銭を伴わない最大の報酬は「楽しみ」である。会員みんなで、敬意と感謝の気持ちをもって成し遂げる「楽しみ」である

